

令和6年4月10日提出

令和5年度浜の活力再生プラン優良事列表彰における 農林水産大臣賞の受賞報告

標記について、次のとおりお知らせします。

日時	令和6年4月18日(木) 14:30~15:00
場所	諫早市役所 本館4階 特別応接室
内容	<p>令和5年度浜の活力再生プラン優良事列表彰において、諫早市小長井地区地域水産業再生委員会が長崎県で初となる農林水産大臣賞を受賞されました。</p> <p>この行事は、水産庁の主催で、浜の活力再生プランの推進に関し、地域が一体となって漁業収入の向上やコスト削減の取り組みを行い、漁業所得の向上及び漁村地域の活性化に関し他の範となる顕著な実績をあげた地域水産業再生員会を表彰しているものです。</p> <p>今回、3月1日(金)に東京都で開催された授賞式に出席されたので、市長への受賞報告のため表敬訪問されるもの。</p> <p>出席者 諫早市小長井地区地域水産業再生委員会 会長 野田 清一(のだ せいいち)様 諫早湾漁業協同組合 職員 鶴田 政文(つるだ まさふみ)様</p> <p>※優良事列表彰は平成29年度から行われており、 令和4年度末時点で全国に554地区の活動団体があり、長崎県は53団体です。</p>
問い合わせ先	諫早市 農林水産部 林務水産課 担当:田中 電話番号:0957-22-1500(内線 2343) E-mail:rinusuisan@city.isahaya.nagasaki.jp
担当課	同上
備考 (記事解禁日等)	

令和5年度 浜の活力再生プラン優良事例表彰 取組概要 諫早市小長井地区地域水産業再生委員会



地区の概要

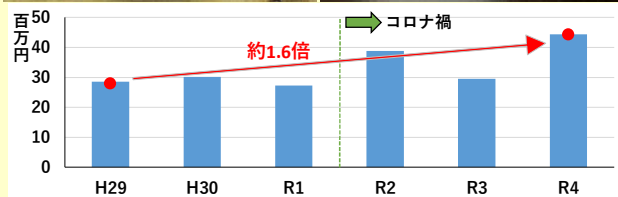


- 長崎県諫早市小長井地区では、主にカキ養殖業やアサリ養殖業、刺網、小型定置網を操業
- カキ・アサリ以外の時期は、漁協直売店は鮮魚が主体となるが、地元産の鮮魚は少なく、客が減少傾向
- 地元関係者の創意工夫と諫早湾の生産力を活かし、周年出荷可能な加工品開発や集客力向上に向けた直売店強化等に取り組む
- 諫早湾漁業協同組合(小長井地区)、諫早市、長崎県で構成される地域水産業再生委員会が取組を推進

主な取組の概要

加工品等の開発・販売の取組

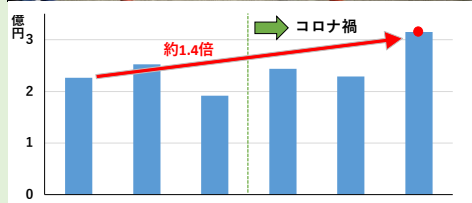
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等向けから消費者に周年届けられる販売形態への転換が必要
- 加工品の開発を加速し、保管・流通や利用にも優位性のある**常温加工品を多数開発**
- 地元飲食店や高校生とタイアップした牡蠣カレーの開発や、新幹線開業の駅弁を共同開発し好評を得るなど、**観光客への販売も好調**
- 加工品の販売高は増加し、**令和4年度には平成29年度の約1.6倍の販売高を記録**



開発した商品(牡蠣カレー(上段左)、駅弁(上段右))と加工品販売高の推移(下段)

直売店強化の取組

- ・直売所の認知度・集客力向上が漁業者の販売益増につながるという考えから、地元の農水産物を中心に地区外の水産物も仕入れることで、常に豊富な品揃えを実現
- ・カキのシーズンである11月～翌3月には、更なる集客のためにカキ焼小屋を併設
- コロナ禍でも直売店販売高は減少せず、**令和4年度には平成29年度の約1.4倍の販売高を記録**
- 冬季に併設するカキ小屋は遠方からの来客もあるほどの評判を集め、**高い集客効果を確認**



併設されるカキ小屋(上)と直売店販売高の推移(下)

体験学習による担い手確保育成

- ・正組合員の高齢化が進んでおり、6年間で60歳以上の割合が10%上昇
- ・高齢化対策として、漁協の青壮年部による小学生を対象としたカキ養殖体験学習及び新規就業希望者の支援を実施
- 体験学習経験者が地元に残り漁業に就業するほか**、県・市の就業支援事業を活用し、4名が着業、2名が就業研修中。
- 小学生を対象としたカキ養殖体験学習は、早い時期から漁業への理解醸成や魅力の体感を深め、**地域の漁業後継者確保・育成への波及効果も期待**



小学生によるカキ養殖体験学習の様子